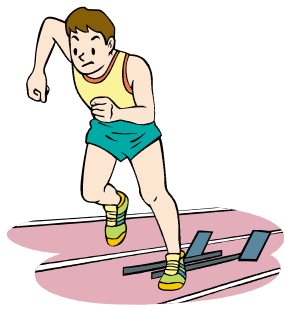


三年	国語	G アップシート	話聞3
----	----	----------	-----

組 番・氏名

★新入生に陸上部の紹介をしよう

◇石割中学校では新一年生のために、部活動を紹介する会を開くことになりました。陸上部の代表となった伊藤さんは、多くの新入生に入部してもらったためのスピーチを考えることにしました。



問一 新入生に陸上部をアピールするために、伊藤さんは自分が経験して感じた陸上競技の魅力をスピーチで話すことにしました。伊藤さんの話す内容として適切なものをア～カから一つ選びなさい。

【学習や体験を生かして意見や感想をまとめる】

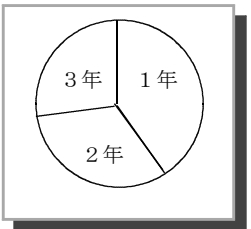
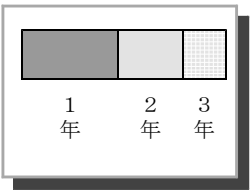
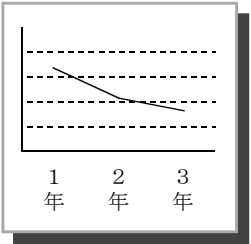
- ア 石割中陸上部の歴史
- イ 陸上競技の面白さ
- ウ 陸上をしていて嬉しいこと
- エ 先輩達の面白さ
- オ 普段の練習メニュー
- カ 顧問の先生の人柄

◇伊藤さんは、スピーチの原稿を次のようにまとめました。

【伊藤さんの原稿の抜粋】
 私は陸上部について二つの点が気に入っています。
 一つは努力が結果に表れるところです。陸上は走ったり跳んだりという一見単純な競技ですが、実際は目に見えにくい細かい技術を高めていかなければ記録は伸びません。しかし逆に言うと、技術や体力を高めていけば絶対に記録は伸びていきます。自分の努力が必ず結果に結びつくところは大きな魅力です。
 もう一つは記録が向上したときの喜びです。僕は一年生で入部したときは百メートルを十七秒以上かかっていました。きっと今の方の方がもっと早く走れると思います。しかし、そんな私も二年生で十四秒台、三年生の今では十二秒台で走ることができるようになりました。こうして記録が伸びていく嬉しさは何とも言えません。

問二 このスピーチを効果的にするために、伊藤さんの百メートル走の記録の変化をグラフで示したいと考えました。どんなグラフが適切か、ア～ウから一つ選びなさい。

【説得力を増すために、資料を活用してスピーチする】



問三 伊藤さんは、状況に合わせた話し方をしたいと思い、スピーチするときの状況や気をつけることを次の表のようにまとめました。表の空らんに入る言葉を、後の語群から選んで書きなさい。

【聞き手の人数や立場、会場の様子などの条件に応じて話し方や言葉遣いを工夫してスピーチする】

①	新生入生
②	体育館（マイクを使う）
話し方	④
③	⑤
話が伝わっていないと感じた場合	⑥

【語群】

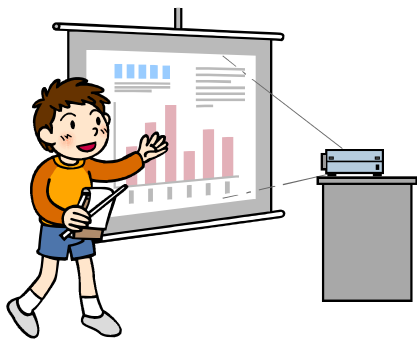
- ・ 場所
- ・ 聞き手のうなずきや表情に注意
- ・ 言いかえたり、付け足す
- ・ メモを見る
- ・ 相手
- ・ できるだけ早口で
- ・ はっきり、ゆっくり
- ・ 視線
- ・ 最初からやり直す

◇会の本番の前に、各部の代表者がリハーサルを行いました。

問四 伊藤さんのスピーチを聞いたバドミントン部の福田さんは、伊藤さんのスピーチの様子から自分のスピーチに活かそうと思うポイントをいくつか見つけました。福田さんが活かそうと思ったポイントとしてふさわしくないものをア～エから一つ選びなさい。

【スピーチを聞いて、話し方の適否について判断する】

- ア 表情豊かに熱意を持って話すこと。
- イ 視線を一点に集中して話すこと。
- ウ 身振り手振りを入れながら話すこと。
- エ 聞き手の表情を見ながら話すこと。



【話聞3 新入生に陸上部の紹介をしよう】

問一 イ、ウ 問二 ア

問三 ①相手 ②場所 ③視線 ④はつきり、ゆっくり

⑤聞き手のうなずきや表情に注意 ⑥言いかえたり、付け足す

問四 イ

解説

問一 経験によって実際に感じられたことを話すことが、聞き手の心を動かすことは多くあります。「面白さ」「嬉しさ」等の気持ちを伝えられるようなスピーチを工夫しましょう。

問二 今回のように記録の伸びを示すためには折れ線グラフが向いています。棒グラフはいくつかの数値を比較したいとき、円グラフは全体の中の割合を示したいときに使います。

問三 スピーチをする時には前もって状況を確認しておき、その状況に合わせて話せるようにしましょう。

・会場の大きさによって声の大きさを調節しますが、マイクが使えるならそれに合わせた声で話します。

・メモを持って話すこともありますが、できるだけ聞き手の方を見て話すようにしましょう。

・話ながら聞き手の表情をよく見て、その表情から話が十分に伝わっているかを判断します。伝わっていない様子ならば、言いかえ等、その場で工夫して伝えられるようにしましょう。

問四

視線を一点に集中しては、話し手の体が固まってリラックスできませんし、聞き手の表情を見ることができません。できるだけ聞き手の方を広く見て話しましょう。